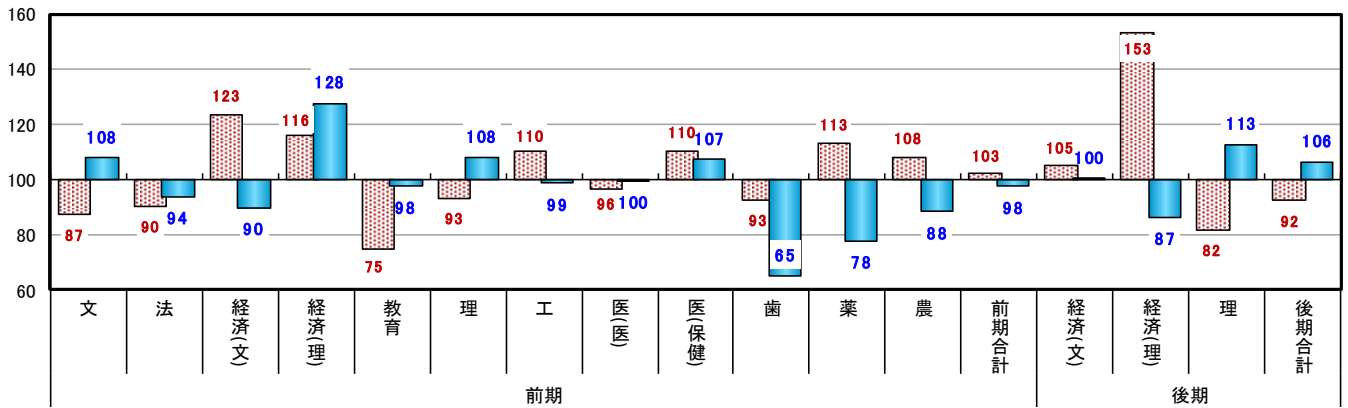


東北大：大学全体で前期は微減、後期はやや増加

前期：-107人 後期：+81人

※前年度の志願者数を100とする指数

□ 2021年度/2020年度 ■ 2022年度/2021年度



主な入試変更点	第1段階選抜基準変更：文<前>…約4倍(通過予定人数：約588人)→約3.5倍(通過予定人数：約514人) 経済(文系)<前>…約4倍(通過予定人数：約588人)→約3.5倍(通過予定人数：約514人) 経済(文系)<後>…約15倍(通過予定人数：約375人)→約14倍(通過予定人数：約350人) 工<前>…学部全体で約3.5倍(通過予定人数：約2,835人)→学部全体で約3倍(通過予定人数：約2,430人) 募集人員：理(生物系)…<前>25人→26人、<後>7人→4人 理(物理系)…<前>72人→74人
---------	---

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数  
 大学全体では、前期は、107人(98)の微減で2年ぶりに減少。文理別では、文系は34人(97)のやや減少で4年連続減少、理系は73人(98)の微減だが2年ぶりに減少。後期は、81人(106)のやや増加で3年ぶりの増加。

- <前期日程>
- 文(108)は、前年度減少の反動で増加、志願倍率は2.7倍→2.9倍にアップ。
  - 法(94)は、やや減少で2年連続減少。
  - 経済(93)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。方式別では(文系)(90)は前年度大幅増加の反動で減少。新設3年目の(理系)(128)は周知が進んだこともあり、2年連続大幅増加で志願倍率は3.6倍→4.6倍にアップ。
  - 教育(98)は、2年連続大幅減少の反動は見られず、さらに微減。
  - 理(108)は、前年度やや減少の反動で増加。ただし、募集人員の微増(前年度募集人員対比指数102)があったので志願倍率は2.6倍→2.7倍のわずかなアップに留まった。学科別では、5学科中4学科が増加。特に、(数学系)(121)は大幅増加で志願倍率は3倍を上回った。(物理系)(114)も増加で、志願倍率は2年ぶりに3倍を上回った。一方で、(化学系)(93)はやや減少で、3年連続減少。
  - 工(99)は、系統への人気の高まりもあって、前年度増加の反動はなく前年度並。学科別では、5学科中3学科が減少。特に、(機械知能・航空工)(91)は減少で、志願倍率も2.9倍→2.6倍にダウン。一方で、(化学・バイオ工)(117)は2年連続大幅増加。
  - 医(医)(100)は、共通テストの平均点ダウンの影響もあって、4年連続減少の反動はなく前年度並。志願倍率は3.1倍で第1段階選抜実施予告倍率約3倍を超えたことで、第1段階選抜が実施されたが、合格率は95.5%と選抜は緩かった。
  - 医(保健)(107)は、2年連続増加。専攻別では、(保健/看護学)(147)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(保健/検査技術科学)(106)は前年度大幅増加に続いてやや増加。一方で、(保健/放射線技術科学)(61)前年度激増の反動で、大幅減少。
  - 歯(65)は、大幅減少で3年連続減少。志願倍率も5.0倍→3.4倍→3.1倍→2.0倍までダウン。
  - 薬(78)は、前年度増加の反動で、大幅減少。志願倍率は2.9倍と3倍を下回った。
  - 農(88)は、前年度増加の反動で減少。

- <後期日程>
- 経済(98)は、2年連続増加の反動はなく、微減に留まった。方式別では(文系)(100)は、前年度並。新設3年目の(理系)(87)は前年度の50%を超える大幅増加の反動で、減少。志願倍率も8.9倍→7.7倍にダウン。
  - 理(113)は、2年連続減少の反動から増加。志願倍率も12.3倍→14.6倍にアップ。学科別では、5学科中4学科が増加。特に、(化学系)(126)は2年連続減少の反動、(地球科学系)(124)3年連続減少の反動で、いずれも増加率20%を超える大幅増加。(数学系)(116)も2年連続減少の反動で大幅増加。